



# 平成 29 年度 佐野小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

7月21日（金）に開催された「平成29年度佐野小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

## ■開催概要■

日 時	平成 29 年 7 月 21 日（金） 19:00～20:45		
会 場	北上文化プラザ		
参加団体 (23名)	佐野自治会 見晴台自治会 三島市立伊豆佐野保育園 公立保育園父母の会 佐野小学校	佐野小学校 PTA 北上中学校 佐野子ども会 見晴台子ども会 環境美化推進委員会	保健委員会 北上地区地域包括支援センター 保護司会 三島市社会福祉協議会

## ■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 4 「アンケート記入」



## 「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報交換」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

### ○「小学校区の年間スケジュール表」について

小学校区内で活動する団体の行事や活動等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の予定を合わせた年間スケジュール表を作成しています。

### ■主な情報交換の内容

団体	情報の概要
見晴台自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は子ども会で廃品回収と体験農園をやっていますが、中学生の地域での活躍の場が少なかったため、今年の夏祭りのボランティアを募集したところ、30人以上の生徒が集まってくれました（昨年は十数人でした）</li> <li>・防災訓練でも中学生に活躍してもらいたいと考えています。</li> </ul>
伊豆佐野保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児たちが、JA 佐野支店で行われる野菜市の前に歌や踊りを披露しています。今年度はすでに2回開催し、11/9、1/11にも行う予定です。もしお時間がありましたら、おいください。</li> <li>・地域活動事業として、10/26にお話し会を開催します。小さなお子さんから高齢の方まで楽しめるとお思いますので、ぜひお越しください。</li> <li>・地域の方々にご協力いただき、芋の栽培活動に参加させていただいています。いつもありがとうございます。</li> </ul>
佐野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「佐野小大好き！地域も大好き！」そんな学校を目指しています。</li> <li>・小学校のランドデザインに、取組み計画案のキャッチフレーズ「自然に触れ 素直で思いやりのある 佐野小学校区」を書きました。地域の皆さんと一緒に子どもたちを育てていきたいと思っています。</li> <li>・児童は、佐野っ子学習に取り組み、地域のことを勉強しています。</li> <li>・見晴台のやじうまクラブに見守りの協力をしていただいています。ありがとうございます。</li> </ul>
佐野小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/29(土)～30(日)に開催する防災キャンプに、中学1年生がボランティアで参加してくれる予定です。とてもありがたいです。</li> </ul>
北上中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の風が吹く学校」をキャッチフレーズに、地域の人たちと交流して将来立派な大人になるよう、指導しています。</li> <li>・10/6(金) 12:30 からゆうゆうホールで「北上祭 発表の部」(合唱コンクール)を開催します。今後地域で回覧させていただきますが、ぜひお出かけください。</li> <li>・11/25(土)にオープン参観を行います。1,2時間目に授業を行い、3,4時間目(10:30～12:20)に飛龍高の太鼓部に演奏していただきます。ぜひお出かけください！</li> <li>・毎週木曜 18～20時に北上文化プラザで中学3年生を対象に「放課後学習</li> </ul>

団体	情報の概要
	<p>支援」(みしま寺子屋)を行っています。講師は、日大の生徒と地域のボランティアの方々(あわせて15人)です。まだ募集中なので、ご協力いただける方は、よろしくお願いします。</p>
<p>北上中学校 支援地域本部 (中学校が代理発表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図書、読み聞かせ、職業体験、環境整備の4つのボランティアを募集中です。学校へ連絡をお願いします。</li> <li>• 7/18(火)園芸委員の生徒と地域のボランティア(7人)と一緒に花を植えました。</li> </ul>
<p>三島市 社会福祉協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。</li> <li>• 高齢者のサロン等の“居場所”づくりに力を入れています。</li> <li>• 地域の困りごとの相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。</li> </ul>



## 「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

### ■旗揚げアンケートの結果

きずながつくる協働の取組み計画案に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みに絞り、話し合いたいテーマとしてふさわしいものを旗揚げアンケート方式で把握しました。

<b>避難場所である佐野小で避難所運営訓練をする。</b>	<b>6</b>
<b>消防団募集チラシの全戸配布など、募集の方法を工夫して声のかからない人をなくす。</b>	<b>4</b>
<b>佐野の神社のお祭りに見晴台の子どもを招待したい、見晴台の夏祭りに佐野の子どもを招待したい。また、自治会も協力する。</b>	<b>10</b>

その後、選択したテーマごとにグループを作り、グループ別に意見交換を行いました。

### ■グループ別意見交換のまとめ

<b>グループA</b>	<b>佐野の神社のお祭りに見晴台の子どもを招待したい、見晴台の夏祭りに佐野の子どもを招待したい。また、自治会も協力する。</b>
--------------	--

#### お祭りでの交流

##### ●お祭りでの交流の現状

###### <お互いの交流>

- ・町内から子ども会を招待している
- ・今年はまだ、子ども会の会長同士でしか話をしていない
- ・きっかけは佐野と見晴台の子ども達の交流から地域交流に発展（3年前から）

###### <見晴台の夏祭り>

- ・開会式の前に「子どもは地域の宝事業」の記念品を贈呈している
- ・ボランティアで高校生がアナウンスをやる
- ・子ども会が神輿の飾りつけをする
- ・見晴台の夏祭りは近代的な祭り。（協賛金：1家庭 500円程度）
- ・お神輿4台が町内を練り歩く

###### <佐野のお祭り>

- ・所帯が多いけれど、派手にやらない
- ・10年程前はPTAとして佐野のお祭りに見晴台の子が参加したが、継続しなかった
- ・「静かに祭りをやりたい」という話がある
- ・佐野の神社のお祭りは歴史がある。質素に

地味に続けてきた

- ・神社の境内が狭いので、人が来ても入りきれない
- ・衛生面の問題で食品を取り扱うことが困難

##### ●課題

###### <おもてなし>

- ・昨年見晴台の夏祭りに佐野の子どもが来てくれたが、招待しただけでおもてなしができなかった

###### <駐車場不足>

- ・見晴台の夏祭りに駐車場不足（佐野の子は30人くらい行くが、5~6台しか確保できないと聞いた）  
⇒駐車場は確保できる

###### <継続が難しい>

- ・子ども会の役員が1年毎に代わるので継続できない

##### ●改善策

###### <工夫する>

- ・佐野の子どもたちに見晴台の夏祭りを喜んでもらえるよう、工夫する

<駐車場はOK>

- ・駐車場はある

<父兄で出店する>

- ・有志で父兄が出店を出すとよい（ヨーヨー釣りを2006年頃やった）
- ・出店希望者が多く、今年の出店は難しい。

<自治会同士で>

- ・本来は自治会同士で交流すべき

●まずできそうなこと

- ・自治会で夜店を出店する（赤字覚悟の値段）
- ・子ども達の楽しむまつりにしたい
- ・やりたい屋台（じゃがバターなど）をリクエストしてほしい
- ・祭りだけではなく、廃品回収などやられているので見返りがある

**その他の子ども会同士の交流**

●その他の子ども会同士の交流の現状

- ・見晴台は市外から来た人達の集まり
- ・見晴台子ども会は月1回親子で廃品回収をしている。各戸の前に回収に来てくれる

●課題

- ・まず自治会同士でつながらないと
- ・子ども会は毎年役員が変わってしまうので継続する事が難しい
- ・廃品回収が町内に移り、子ども会の役割が減ってしまうのでは？
- ・子ども会の衰退を招くのではないかな？

●改善策

<自治会と相談しつつ引き継ぐ>

- ・子ども会単独では難しいので自治会に相談してほしい
- ・子ども会の会長が引き継いでいく事が重要

佐野小学校区 H29.7.21

**佐野の神社のお祭りに見晴台の子どもを招待したり、見晴台の夏祭りに佐野の子どもを招待したりする。また、自治会も協力する。**

目的 (何のため?)

おまつりでの交流の現状	課題	改善策	まずできそうなこと
<p>町内の子供会に招く</p> <p>今年 子供会会長同士の話をし、お互い前庭でヨーヨー釣りをしたり、見晴台の子供会に招いたりする。</p> <p>おまつり前 佐野・見晴台の子供会が協力して、おまつり前庭でヨーヨー釣りをしたり、見晴台の子供会に招いたりする。</p> <p>交流の現状</p> <p>見晴台の子供会が、おまつり前庭でヨーヨー釣りをしたり、見晴台の子供会に招いたりする。</p>	<p>見晴台の夏祭りに佐野の子供会を招待する。</p> <p>見晴台の夏祭りに佐野の子供会を招待する。</p> <p>見晴台の夏祭りに佐野の子供会を招待する。</p>	<p>見晴台の夏祭りに佐野の子供会を招待する。</p> <p>見晴台の夏祭りに佐野の子供会を招待する。</p> <p>見晴台の夏祭りに佐野の子供会を招待する。</p>	<p>見晴台の子供会に招く</p> <p>見晴台の子供会に招く</p> <p>見晴台の子供会に招く</p>

●課題

- ・子ども会単独では難しいので自治会に相談してほしい
- ・子ども会の会長が引き継いでいく事が重要

●改善策

<自治会と相談しつつ引き継ぐ>

- ・子ども会単独では難しいので自治会に相談してほしい
- ・子ども会の会長が引き継いでいく事が重要

●現状の確認

- ・佐野小には自噴している水があったが、トイレ用の水として使うことができるか？
- ・伊豆佐野保育園は佐野小が避難場所になっているが、どんな協力ができるか？実際に佐野小のどこに避難したら良いか？

●クリアすべき課題は？

＜収容人数の問題＞

- ・多くの方が集まったの訓練が難しい（体育館収容人数 150 人程度）
- ・見晴台は千名位で多いので難しい課題

＜マニュアル通りにいかない＞

- ・子ども達が学校に居る時に災害が起こると対応が困難
- ・市の広報は聞き難い
- ・身体不自由の手助けの手順
- ・指揮をするリーダーが誰か
- ・防災の組織図は出来ているが機能しない

●どのような方法ならできそうか？

＜初期対応と避難所訓練は分けて考える＞

- ・発災初期の対応と避難所運営は別に考えるべき。初期対応は町内会で一次対応

＜消防団に協力してもらう＞

- ・消防団の誘導が適切であった
- ・消防車のサイレン放送が効果的

＜多くの人に参加してもらうことが重要＞

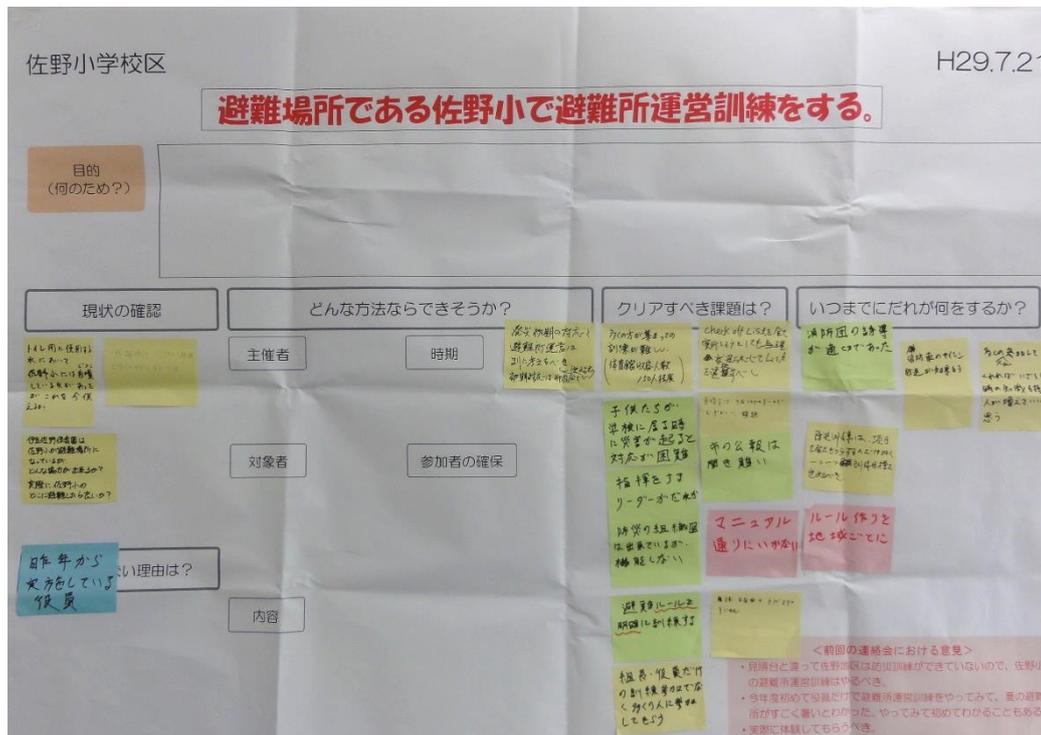
- ・組長、役員だけの訓練参加ではなく、多くの人に参加して貰う
- ・多くの人に参加してくれれば、いざという時の知識を持った人が増えていいと思う

＜やることを絞る＞

- ・check off List を全て実行しようとしても無理。状況に応じて List を選択すべし
- ・防災訓練は、項目を全て網羅するのではなく、1つ1つ訓練目標を定めるべき

＜ルール作りを地域ごとに＞

- ・避難ルールを明確に訓練する



消防団募集チラシの全戸配布など、  
募集の方法を工夫して声のかからない人をなくす。

●目的（何のため？）

＜団員を増やす＞

- ・団員を増やしたい
- ・大会があり厳しい訓練だが、達成感がある
- ・分団員を増員したい
- ・高齢者消防団を作った所（新潟市）もある

- ・分団員が 50 歳過ぎまで継続出来るように希望する（特に第 5 分団）

●募集方法のアイデア

＜チラシの全戸配布＞

- ・自治会に協力してもらわないと進まない
- ・ぜひ進めた方がいい
- ・活動内等をチラシに載せる

●現在の状況（確認）

＜団員が少ない＞

- ・見晴台は団員が少ない

＜自治会に期待していない＞

- ・消防団は募集を自治会に期待していない
- ・自治会に相談がない
- ・全戸配布はしていない。見晴台は回覧のみ

＜中学生の意識を高める＞

- ・団員はカッコイイ→話をしてもらう
- ・消防団の勇士、かっこ良さ等を見せる
- ・訓練に中学生の参加が少ない
- ・中学生を集めて消防車に乗せて走る
- ・中学校で防災訓練ができないか
- ・要支援者の救助に中学生に活躍してもらう

＜大学生が入っている分団もある＞

- ・第 4 分団に日大生が入っている

●実施に向けた課題

- ・もっと力を入れて団員を誘う
- ・やめた方に復活してもらう

●団員不足の理由

＜大変な役割＞

- ・団員が少なく大変だから

＜やることを知らない＞

- ・団員のやることを知らない

●まずやること

＜チラシの配布・掲示回数を増やす＞

- ・年 4 回くらい募集広告を出したい(見晴台)

＜若者が忙しい＞

- ・以前は農家だが今はサラリーマンが多い
- ・参加したくても忙しくて団員になれない

＜中学生の意識を育てる＞

- ・将来を考えたら中学生の意識を変える
- ・中学生の地元貢献意識を高める

●ターゲットは？

＜中学生＞

- ・中学生の意識を高める

＜高校生＞

- ・高校生は即戦力になる

＜女性＞

- ・女性の団員が増えた
- ・女性をターゲットにする

＜50 代くらいまでやってもらう＞

- ・やれる人は残ってもらった方がいい。
- 50 代くらいまで大丈夫

